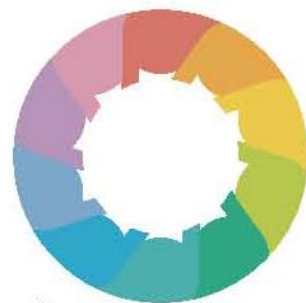


株式会社ピアズ

証券コード：7066

2019年9月期 第3四半期 決算補足説明資料



Peers

- 1. 事業状況報告
（2019年9月期 第3四半期 決算報告）**
- 2. 会社概要**

1. 事業狀況報告

(2019年9月期 第3四半期 決算報告)

- 売上高は前年同期比を大きく（46.1%）上回り着地
- 採用計画の遅れにより外注費が増加し、新規株式公開に伴うコストも増加したため、売上高経常利益率が前年同期比6.1ポイント低下
- 新規株式公開に伴う税負担の増加により、当期純利益の通期計画進捗が鈍化

(単位：百万円)

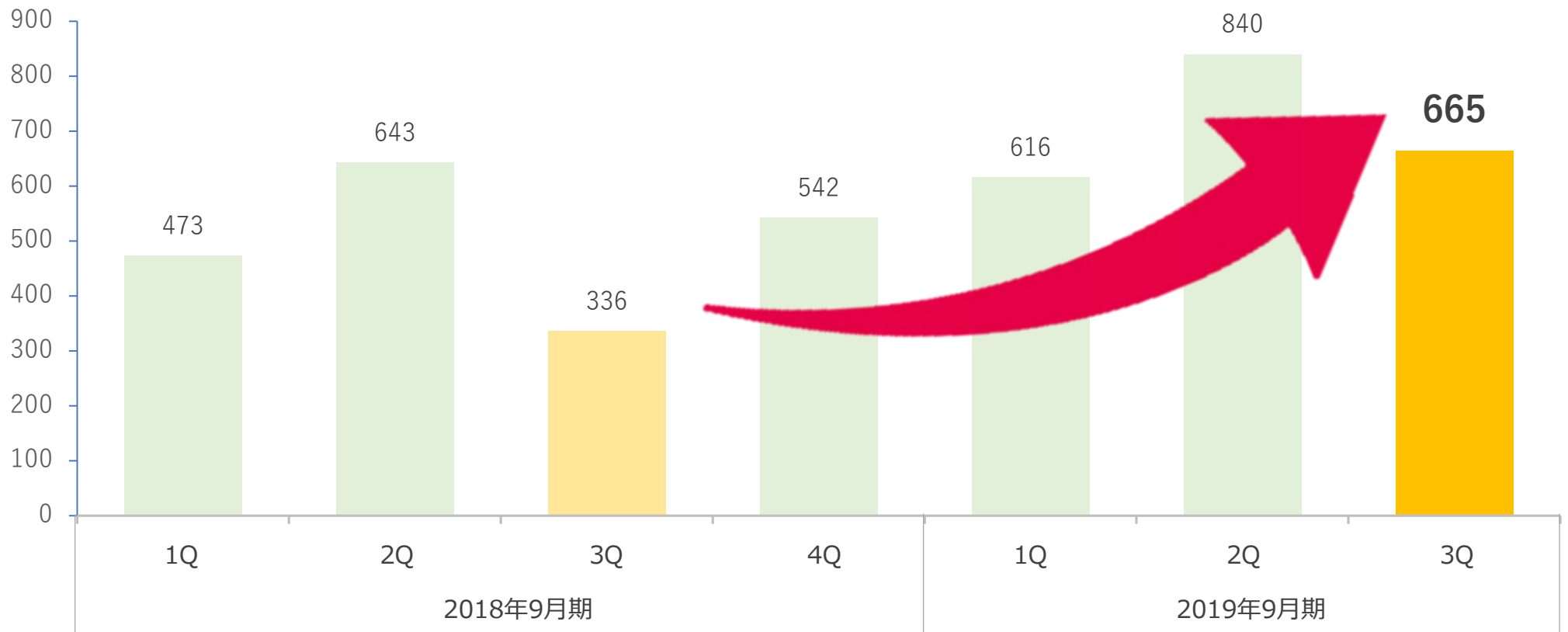
	第3四半期累計期間			通期計画	
	2019年9月期 第3四半期実績	2018年9月期 第3四半期実績	前年同期比 増減率	2019年9月期 通期計画	進捗率
売上高	2,121	1,452	+46.1%	2,684	79.0%
営業利益	396	339	+16.6%	505	78.3%
経常利益	376	345	+8.9%	503	74.6%
売上高経常利益率 (%)	17.7%	23.8%	—	18.8%	—
当期純利益	233	222	+5.3%	326	71.6%

前年同期比**+329百万円**と大幅に増加

成長率は**198%**と右肩上がり

売上高推移

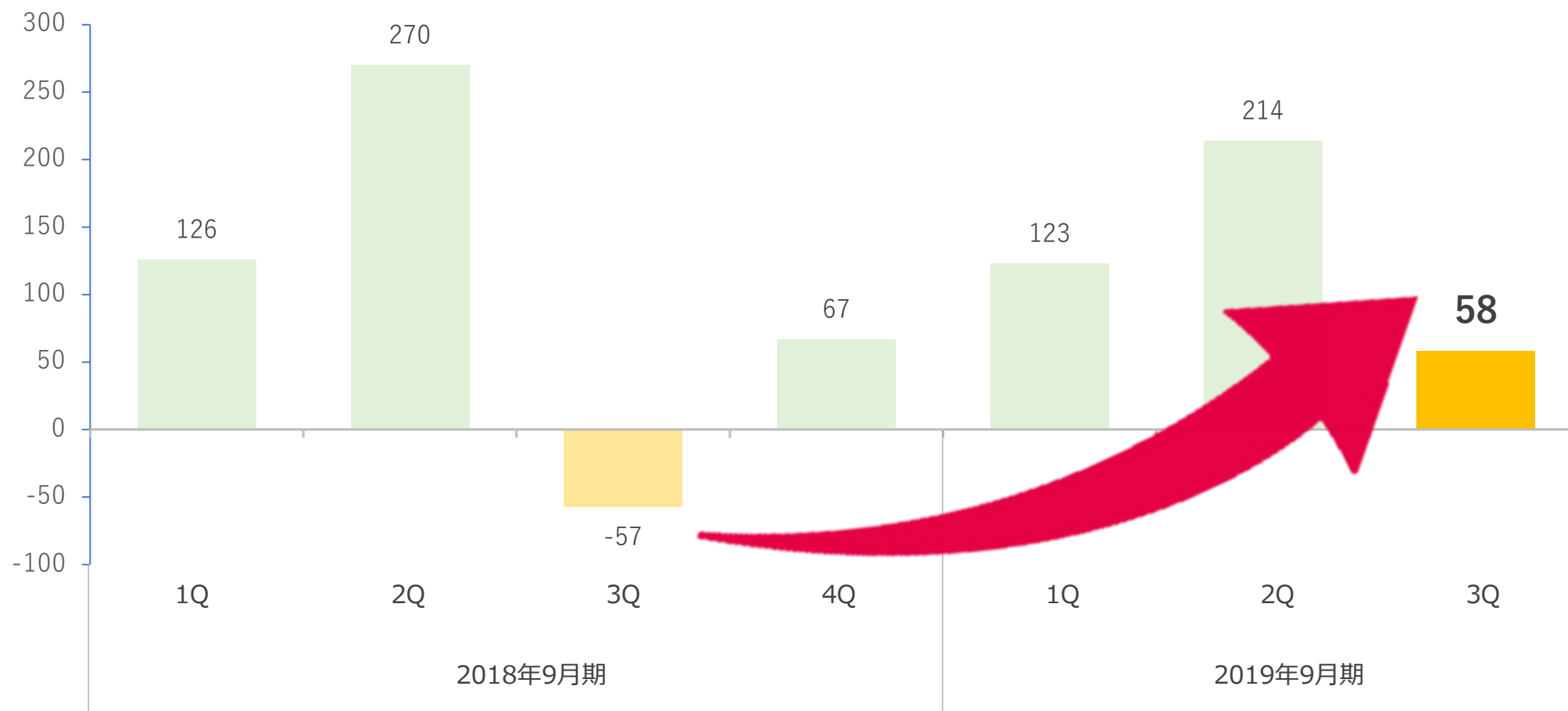
(単位：百万円)



前年同期比+115百万円と大幅に増加

営業利益推移

(単位：百万円)



販売費および一般管理費実績（前第3四半期実績比、通期進捗）

- ・ 人件費関係費および旅費交通費については、人員の増加に伴い前年同期比増
- ・ 支払報酬については、不要不急の費用の見直しにより前年同期比減
- ・ 租税公課については、新規株式公開により一部事業税の計上により前年同期比増

結果として、販売費および一般管理費全体は前年同期とほぼ横ばいで推移

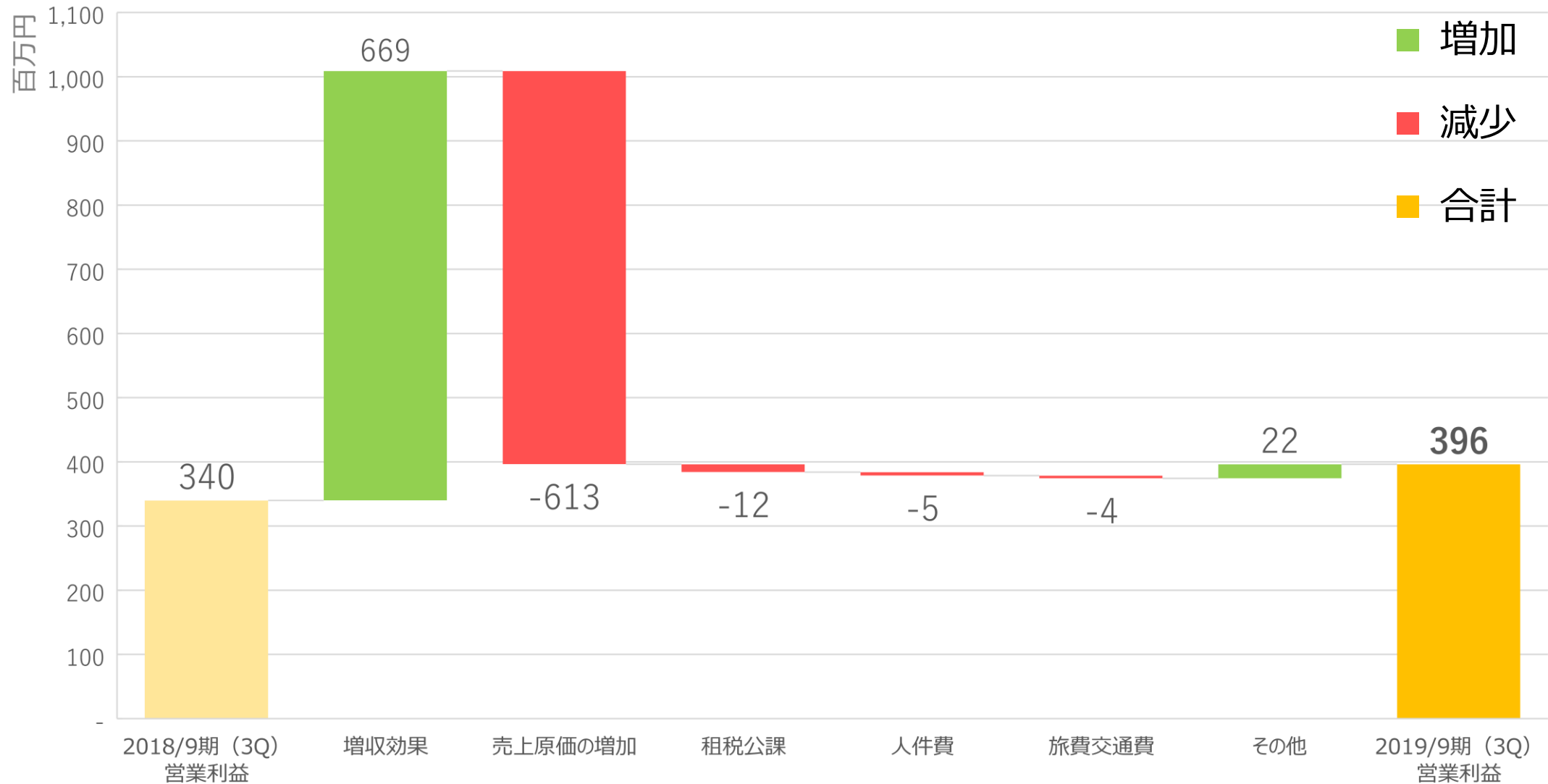
（単位：百万円）

	実績		
	2019年9月期 第3四半期累計	2018年9月期 第3四半期累計	増減率
販売費および一般管理費	340	340	100.0%
①人件費関係費用	155	149	103.7%
②旅費交通費	29	25	116.6%
③支払報酬	28	39	72.6%
④租税公課	13	1	1318.4%
⑤その他	114	125	91.1%

※ 人件費関係費には、役員報酬、給与手当、賞与、賞与引当金、法定福利費を含む

前第3四半期（累計期間）比営業利益増減分析

案件の受注が飛躍的に増加したため外注費が大幅に増加したが、
過去最高第3四半期営業利益を達成



2. 会社概要

》》 会社概要

会社名	株式会社ピアズ
事業内容	コンサルティング事業
事業開始	2005年1月
代表者	桑野隆司
本社所在地	東京都港区西新橋2-9-1 PMO西新橋5F
従業員数	84名
資本金	424百万円
発行済株式数	2,175,000株

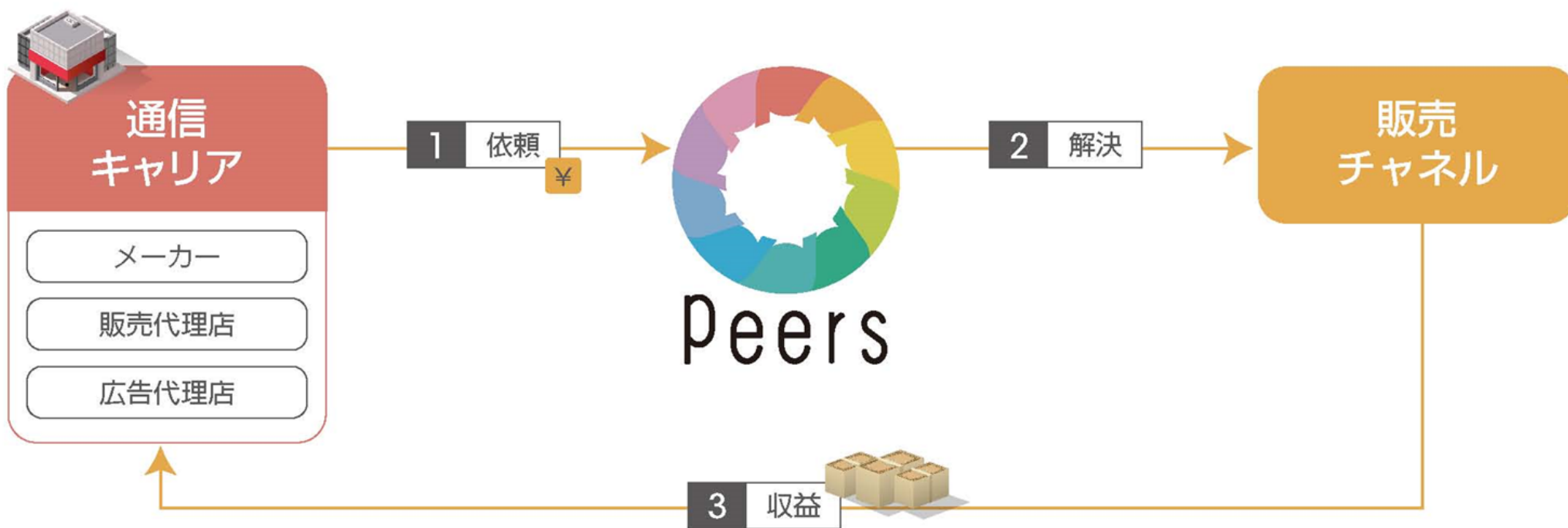
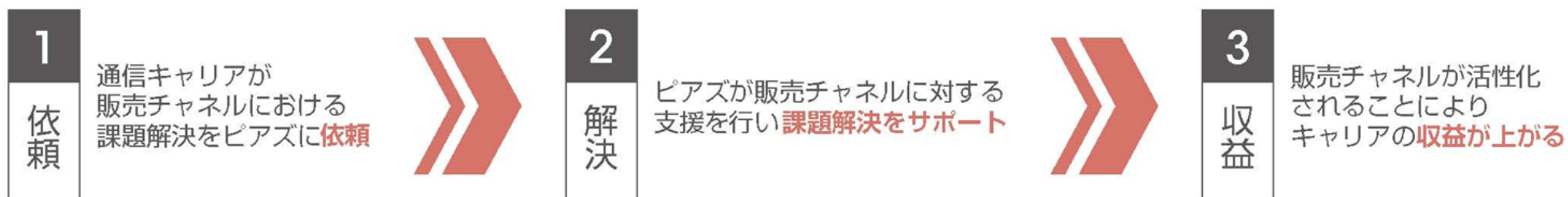


(2019年6月30日現在)

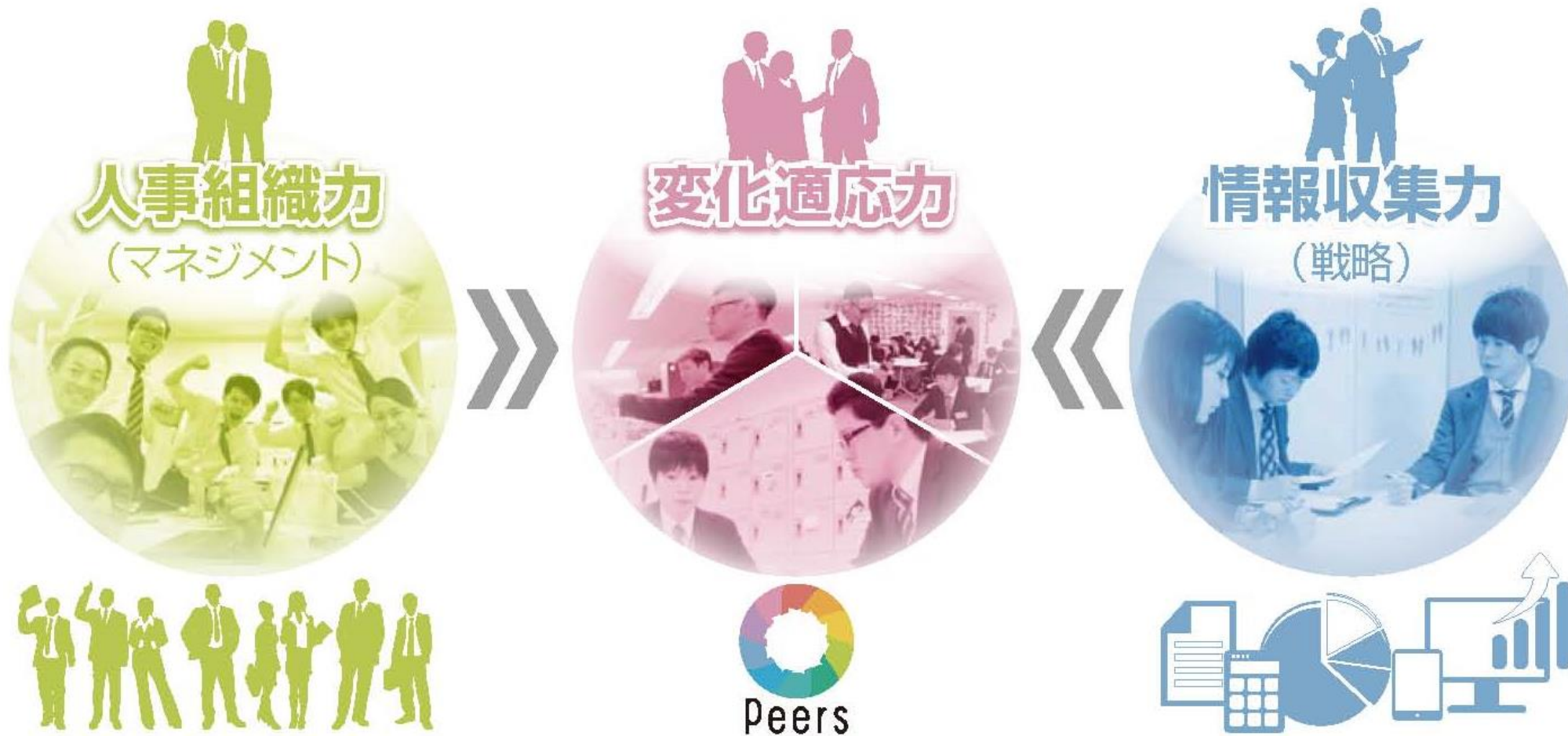
私たちは販売現場サポートを通じて
通信キャリアの課題解決を支援する
スペシャリスト集団です。

peers

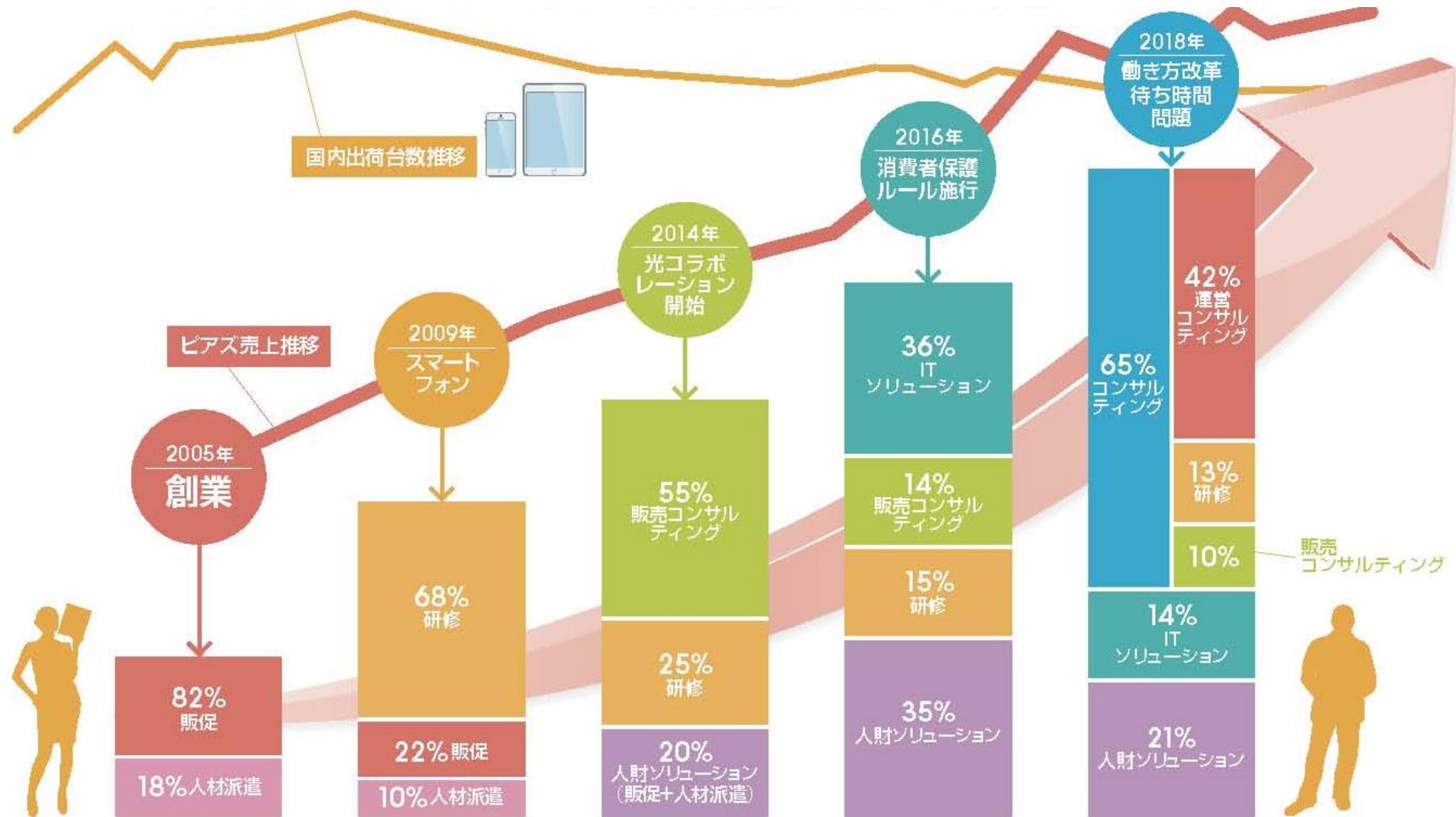
》》》 ピアズのビジネスモデル



通信業界の課題解決に特化した、コンサルティングサービスを提供



独自の組織構築メソッドと、幅広い情報収集力を活かして、業界課題や顧客課題に柔軟に対応できることが強み



※当社サービスセグメントであるコンサルティングサービスを「研修」、「販売コンサルティング」、「運営コンサルティング」の3サービスに分解して再集計

情報収集力（事業戦略）と人事組織力（柔軟な組織）を組み合わせ、創業以来、業界変化に応じて事業転換し継続的に成長

- 本資料には将来の見通しに関する記述が含まれており、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。
- 実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 本資料は、2019年8月14日現在のデータに基づき作成しています。